

# 生命科学・医学系研究実施のお知らせ

東京慈恵会医科大学倫理委員会の審査を受け、以下の研究を実施しております。

本研究に関する内容の詳細等、お知りになりたい方は下記【問い合わせ先】までご連絡ください。なお、試料・情報が本研究に用いられることについて、研究の対象となる方（もしくは代理人の方）にご了承いただけない場合は研究対象から除外いたしますので、下記【問い合わせ先】までお申し出ください。

<b>【研究課題名】</b>	非糖尿病 CKD 患者におけるダパグリフロジンの有効性および安全性と腎生検組織に関する臨床病理相関研究		
1. 研究の目的と方法	ダパグリフロジンはもともと糖尿病の治療薬として開発された薬ですが、近年、海外からの臨床研究において、腎臓病患者さんの腎機能低下を抑制する効果もあることがわかってきました。本研究は、東京慈恵会医科大学の各附属病院で下記の期間に腎臓病の治療薬としてダパグリフロジン（商品名：フォシーガ）を処方され腎生検施行された患者さんを対象とし、有効性や安全性と腎組織所見との関係について調べる研究です。		
2. 研究期間	調査対象期間 本学倫理委員会承認日～2023年9月30日まで 研究全体の実施期間 本学倫理委員会承認日～2027年3月31日まで		
3. 対象となる方等	研究機関：■附属病院 ■葛飾医療センター ■第三病院 ■柏病院 対象となる方：2021年8月1日～2022年11月30日までに腎臓病の治療薬として東京慈恵会医科大学附属病院・葛飾医療センター・第三病院・柏病院腎臓・高血圧内科でダパグリフロジン（商品名：フォシーガ）を処方され、かつ腎生検施行歴のある成人の患者さんが対象となります。		
4. 研究に利用する試料・情報について	(1) 試料の種類	試料は使用しません。	
	(2) 試料の取得の方法	試料は使用しないため、該当しません。	
	(3) 情報の種類	診断名、年齢、性別、身体所見、検査結果（血液検査、尿検査）、腎組織	
	(4) 情報の取得の方法	診療録から診療時のデータを収集します。	
5. 研究の実施体制	あなたの試料・情報は、以下の研究者が研究のために利用します。 試料・情報は、(3)の管理責任者が責任をもって、保管・管理します。		
	(1) 当施設の 研究責任者 または研究 代表者	研究機関名	東京慈恵会医科大学附属柏病院 腎臓・高血圧内科
		氏名	清水昭博
	(2) 当施設の長	東京慈恵会医科大学 学長 松藤千弥	
	(3) 当施設の 試料・情報の 管理責任者	(1)の研究責任者と同じ	
(4) 共同で研究 を実施する 施設とその 責任者	この研究では共同で研究を実施する機関はありません。		

<p>6. 試料・情報を他機関とやり取りすることについて</p>	<p>この研究では、外部の機関と試料・情報をやり取りすることはありません。 試料・情報の利用開始予定日：2023年2月頃～</p>
<p><b>【問い合わせ先】</b></p>	<p>東京慈恵会医科大学 内科学講座 腎臓・高血圧内科 研究責任者、柏病院窓口担当者：清水 昭博（しみずあきひろ） 電話：04-7164-1111（内線：3221） 附属病院窓口担当者：上田 裕之（うえだひろゆき） 電話：03-3433-1111（内線：3221） 附属第三病院窓口担当者：岡部 匡裕（おかべ まさひろ） 電話：03-3480-1151 葛飾医療センター窓口担当者：横手 伸也（よこて しんや） 電話：03-3603-2111 対応時間：平日 9：00 ～ 16：00</p>

※利用する情報等からは、お名前、住所、電話番号、カルテ番号など、個人を特定できる情報は削除いたします。  
研究成果を学会や論文で発表する際も個人が特定できる情報は利用いたしません。